

平成30年度 志教育全体計画

宮城県宮城第一高等学校

校 風
自 主 ・ 自 律

本校の教育目標
<ol style="list-style-type: none"> 1 個性の確立(個人生活) 2 社会性の陶冶(家庭生活及び社会生活) 3 職業教育(経済生活及び職業生活) 4 明るい生活の創造(総合)

生徒の実態, 教師の願い
<p>自主自律の精神が受け継がれ、教育活動全体を通じて展開されている。自ら考え、自らの意志で決定し、その行為の結果に責任を持つという精神を継続して指導してきた。自由な校風を享受しながらも、集団の中で切磋琢磨しつつ、社会性を身につけ他とのつながりを意識した生き方を模索してもらいたい。</p>

保護者や地域の願い
<p>入学してくる生徒の資質は高く、生徒はほとんど進学希望であり、保護者もそれを望んでいる。卒業後も社会の多くの分野で活躍し、リーダーとしての役割が期待されている。伝統を受け継ぎつつ、学力の伸長とともに、3年間の充実した高校生活の中で人間として大きく成長してもらいたい。</p>

「志教育」の目標
<ol style="list-style-type: none"> 1 自己理解を深め、早期に進路目標を確立する 2 探究する姿勢や、高度な自己教育力を高める 3 自己実現をめざし、努力する姿勢を支援する 4 情報を広く集め、活用する能力を育てる

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<p>○特別活動や部活動での活動をとおして、集団の中における自己の役割を意識し、他とのつながりを深化させる。○クラスや委員会活動において、個を大切にす視点と、他と協力する視点の調整をとおして、社会性を身につけさせる。</p>	<p>○講演会や進路資料から、積極的に情報を集め、自己実現に向けて自律的に取り組めるようにする。○学び喜びを体験させ、未知の世界に挑戦しようとする姿勢を支援する。</p>	<p>○職業を選択する意味と日本や世界との関係を常に考えさせ、社会の中で学びの意義を理解させる。○限られた資源と環境の中で、豊かで平和な社会の実現に向けて取り組むべき課題を考察させる。</p>

各教育活動における取組の観点	
各教科	<p>基本的な生活習慣を身につけさせ、家庭学習時間を確保させる。55分授業により、質の高い授業を提供する。答を求めるだけでなく、自ら考えまとめ表現する能力を育成する。生徒が日常的に質問できる体制を整え、個に応じながら確かな学力を身につけさせる。</p>
道徳	<p>生徒が自己探求と自己実現に努め、国家社会の一員としての自覚に基づき行為しうる発達段階にあることを考慮して、人間としての在り方生き方に関する教育を学校教育全体の活動を通じておこなう。</p>
総合的な学習の時間	<p>コスモスゼミ ①1年次 「夢から志へ」自己の現状理解と人生設計 ②2年次 「体験と研究」職業・大学研究と基礎固め ③3年次 「将来への実践」進路実現のための実践</p>
特別活動	<p>学友会の一員として、各種行事や部活動へ積極的に参加し、周りと協力しながら、問題の解決に取り組み、自分の責任を果たすとともに、自己を生かす能力を養う。校風である自主自律を意識させながら、自主的・実践的な態度を育てる。</p>
その他	<p>進学重視型単位制の利点をいかし、個に応じた教育課程を構築し、少人数や習熟度別授業で、個々の能力を十分に指導できるようにする。理数科の特色を活用しながら、科学の最先端にふれる機会を増やす。特に、医歯系進学者については県の企画と連携を深める。</p>

各学年の取組内容	
1年	<ol style="list-style-type: none"> ①スタディサポート・進路適性検査の実施 ②東北大学オープンキャンパスへの参加 ③卒業生による講話 ④社会人講演会 ⑤社会人によるキャリアセミナー ⑥大学の先生による模擬授業 ⑦歌合戦に向けての準備と発表 ⑧小論文による学習 ⑨個人面談〔学習相談、進路相談〕
2年	<ol style="list-style-type: none"> ①学習_進路希望調査(年2回) ②オープンキャンパスへの参加 ③社会人講演会 ④教育実習生による学部紹介と進路講話 ⑤大学の先生による模擬授業 ⑥研修旅行 ⑦歌合戦に向けての準備と発表 ⑧小論文による学習 ⑨個人面談〔学習相談、希望進路の確認と助言〕
3年	<ol style="list-style-type: none"> ①進路説明会〔進路関連日程と心構え〕 ②オープンキャンパスへの参加 ③社会人講演会 ④進路講話 ⑤学習_進路希望調査 ⑥歌合戦に向けての準備と発表 ⑦センター試験説明会・トレーニング ⑧小論文指導(志願理由書作成を含む)と面接指導 ⑨個別面談・三者面談〔志望校決定と出願〕

家庭との連携
<p>P.T.A活動や学校評価、授業公開などの機会を通じて、情報交換を図る。学校新聞やホームページで日常の学校生活について情報発信し、家庭と連携しながら時機に応じて安定した学習環境を維持できるよう協力して取り組む。</p>

地域・企業との協働
<p>地元大学との連携により、知的好奇心の刺激と、進路意識を深化させる。最先端の科学研究に直接ふれたり施設を訪問することで、学習意欲への還元をはかる。卒業生等の協力を得ながら、最先端で活躍する職業人のプロ意識を学ぶ。</p>